

# 令和2年度 学校評価

四天王寺東高等学校  
四天王寺東中学校

## 目 次

1. めざす学校像	2
2. 中期的目標	2
【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの評価】	3
*自己評価アンケートの結果と分析	
結果	3
分析	4
1 肯定評価（評価1・評価2）による分析	
2 設問ごとの分析と具体的な改善方法	
*学校関係者評価委員会からの評価	7
3. 本年度の取り組み内容及び自己評価	9
資料	
①令和2年度 自己評価アンケート 集計結果	10
②過去年度との比較資料	11
③集計結果を分析した資料	12

## 1. めざす学校像

聖徳太子の仏教精神に基づく情操教育の実践及び教科学習・学校行事・クラブ活動を通して、豊かな人間性を備え、知・徳・体すべてに調和がとれた人物を育成します。また、社会ルールや校則を遵守し、探究型教育やICT教育等に積極的に取り組み、粘り強く努力を重ねて学習に励むことにより、希望する進路を実現し、将来日本のリーダーとして活躍できる人間力を備えた人物の育成を目指します。

目標

1. 聖徳太子の和のご精神を涵養し、豊かな情操を備えた人間を育成する。
2. 探究活動やICT教育に取り組み、学習意欲の高揚と学力の向上を目指す。
3. 自己の進路を考え、自己実現を図る進路指導を行う。
4. 規範意識を高め、調和の取れた人物を育成する。

## 2. 中期的目標

1. 聖徳太子の和のご精神を涵養し、豊かな情操を備えた人間を育成する。
  1. 生徒会活動が活発に行われている。
  2. 部活動が活発に行われている。
2. 探究活動やICT教育に取り組み、学習意欲の高揚と学力の向上を目指す。
  1. 家庭学習時間の確保に向けた取り組みが行われている。
  2. 公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている。
3. 自己の進路を考え、自己実現を図る進路指導を行う。
  1. 進路説明会は、適切に計画・実施されている。
  2. 定期的な懇談・面談などを通じて適切な進路指導がなされている。
4. 規範意識を高め、調和の取れた人物を育成する。
  1. 遅刻・欠席を少なくさせている。
  2. 挨拶をすることや時間を守る指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。
5. 学校運営について
  1. 職員の生徒募集の意識高揚が図られている。
  2. 学校のホームページを活用し、教育活動や生徒の学校生活について情報公開している。

## 【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

\*自己評価アンケートの結果と分析（令和3年1月実施）

	番号	設問	結果(%)				番号
			1	2	3	4	
目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習・スキー学舎等)が適切に計画・実施されている	44	44	9	2	1
	2	生徒会活動が活発に行われている	26	44	23	7	2
	3	部活動が活発に行われている	30	60	7	2	3
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	21	51	19	9	4
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取組が適切に実施されている	37	42	21	0	5
	6	佛教教育・佛教行事が適切に計画・実施されている	44	37	19	0	6
目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	44	42	12	2	7
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	33	60	5	2	8
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	63	33	5	0	9
	10	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	30	37	26	7	10
	11	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを行っている	37	51	9	2	11
	12	学習状況に応じて生徒を支援する体制が整っている	37	42	21	0	12
	13	家庭学習時間の確保に向けた取組を行っている	33	44	19	5	13
	14	授業で、探究活動を実践したり、ICT(情報通信技術)を活用している	33	51	16	0	14
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	35	40	26	0	15
	16	生徒の進路選択に役立つように状況に応じた必要な情報を提供している	47	47	7	0	16
目標3	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	58	40	2	0	17
	18	定期的な懇談・面談などを通じて適切な進路指導がなされている	53	44	2	0	18
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	47	49	5	0	19
	20	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	26	40	30	5	20
目標4	21	生徒の問題に対して情報を共有し、組織的に対応できている	33	42	23	2	21
	22	社会のルールマナーを順守させている	26	42	23	9	22
	23	服装規定を守らせている	21	42	23	14	23
	24	生徒への指導について、保護者への報告が適切になされている	51	47	2	0	24
	25	遅刻・欠席を少なくさせている	19	47	33	2	25
	26	挨拶をすることや時間を守る指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている	28	47	23	2	26
	27	環境美化や清掃に対する意識の向上を図っている	28	37	33	2	27
	28	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	33	58	9	0	28
	29	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	28	47	16	9	29
	30	教員間・教科間の相互理解がなされ、連携して教育活動が行われている	26	42	28	5	30
学校運営	31	学校のホームページを活用し、教育活動や生徒の学校生活について情報公開している	44	49	7	0	31
	32	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	19	40	37	5	32
	33	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	23	51	23	2	33
	34	防災訓練の実施等、防災に対する意識の高揚を図っている	40	49	9	2	34
	35	入試説明会などを通して、情報の発信が適切に計画・実施されている	56	37	5	2	35
	36	ホームページで入試関連行事などの情報発信が適切に計画・実施されている	60	35	5	0	36
	37	個人情報保護の指針が守られ、個人情報が適切に扱われている	53	42	5	0	37
	38	職員の生徒募集の意識高揚が図られている	35	47	16	2	38

\*結果の評価：1(よくあてはまる)、2(ややあてはまる)、3(あまりあてはまらない)、4(まったくあてはまらない)

分析		
1	1 評価と2評価による分析（肯定評価） （資料①、②、③参照） 1評価と2評価のパーセントの合計は、平均で81.4%であり、昨年度の73.9%からかなり上昇した。70%を越える高い評価を得た項目は29項目で、昨年度の23項目よりも6項目増加した。また、70%以下の改善の余地がある項目は昨年度の15項目から9項目へと減少した。全体的には改善傾向はあるが、まだ改善の必要がある項目が少くはないので、さらなる方策が必要である。	
	番号	設問ごとの分析と具体的な改善方法
目標1	1	コロナ禍であったが中学3年生の修学旅行、中学2年生の校外学習を実施できたことが高評価に結びついたのではないかと思う。
	2	コロナ禍で生徒会活動も制限を受けたのは事実であり、それが低い評価になっているものと考えられる。しかし、規模を縮小した文化祭及び募金活動ができたのは生徒会として良かったと感じる。
	3	新入生も多くクラブに入部するとともに、新たに同好会も発足したこと。さらにグラウンドや体育館も生徒で溢れ、学校自体が活気に満ち溢れているという状況が高評価に繋がったのではないかと考える。
	4	例年の「心のアンケート」に加え、休校明けに実施したコロナ関連のアンケートや教員研修の回数増により、前年度より評価が26%増となった。
	5	いじめ防止基本方針を改定し、いじめが起きたときの対応方法を具体的に教員に周知し、人権教育が定期的に実施されたことで昨年度より評価が4.8%増となり、前年度より評価が上がった。
	6	8割以上の肯定評価を頂いているが、昨年と比較すると3.2%肯定評価が下がっている。改善の余地があるものの、今年度81.4%の肯定評価の結果は、聖徳太子の仏教精神を建学の精神としている学校全体としての取り組み、並びに全教職員の意識・協力の結果であると考える。 若干下がってはいるが、このコロナ禍において、仏教行事はできる限りのことを行った結果かと思う。
	7	高校が新体制になり、コースによりその目的に応じたカリキュラムを作成したことが評価に繋がった。
	8	今年度から、特に、高校1年生と中学1年生で補習授業を組み込んだカリキュラムをコースによって設定し、高2では文理別のクラスに分かれたことで、生徒の学習状況に応じた時間割を作成でき、高い評価に繋がったものと考える。
	9	文書にて年間の授業計画・教育計画を立てられたことと、教科ごとの連携や教科主任会議の運営が正しく行われたことが非常に高い評価となったと思われる。
	10	改善はしているものの、まだ評価は低い。原因是、学校主導での取り組みが秋の授業見学だけであることに対し、それだけでは足りないと考えている教員が多いのではないか。自分の授業で手一杯になってしまい、他の先生の授業見学をしたくても時間的余裕がないという実情がある。
	11	教科会議を定期的に行うことにより、必要な話し合いができることが評価に繋がったが、まだまだ改善の余地がある。
	12	8割程度が肯定的な回答を示していることは、現状を否定する材料にはならないので、良好といえる。放課後学習の制度が整えられており、生徒を支援する体制が整っていると考えられる。
	13	概ね8割が肯定的な回答となっているので、良好といえる。コロナ禍の影響もあり、ロイロノート等を通じて家庭学習の時間が今年度は十分に取れていたことが数字の改善につながったのではないだろうか。

目標 2	14	新型コロナウイルス感染拡大防止のため2ヶ月の休校期間があり、ICT活用に対するニーズも高まった。昨年度よりも数値が下がっているのは、そのニーズの拡大に追いつかなかった部分が影響していると思われる。今後は校内LANの不安定さの改善など、業者・管財との協力をさらに進めていく必要がある。高2では宇宙の授業を通してiPadを使用して探究活動を行ったことはとても良かったが、その活動を教員全体へ伝える發信力が弱ったことが数字に現れている。	ロイロノート・スクールを柱として、本校のICT活用の形をさらに推進していく。設備面では教員のマンパワーで補いきれなくなってきたので、業者・管財との協力をより密にしていく必要がある。低い数値になったのは、コロナ禍の影響で研修等が行われなかつたものもあるのかもしれないが、教員同士の研修や交流を増やしていく。教室の後ろからのぞいてみると、タブレットで、授業とは関係のない動画や漫画を見ている生徒が散見される。来年度からは中学生もタブレットを使用しての授業を展開していくので、各教員が試行錯誤するその過程や結果を全教員で共有し、学校教育として適切な使い方ができるように情報を共有していく。	14
	15	7.5割程度が肯定的な回答を示しているので、良好といえる。夏期講習、冬期講習等、先生方が協力して取り組んだ成果であろう。	前年と比較して向上がみられるため、まずは今年度と同様の取り組みを維持することが肝要といえる。	15
目標 3	16	9割程度が肯定的な回答をしているので、高く評価されている。また、進路指導室の利用率が高くなっていると思われる。	次年度も高評価維持のため、今年度と同様の取り組みを継続する必要がある。	16
	17	9.8割程度が肯定的な回答を示していることは、現状を否定する材料にはならないので、良好といえる。適切な場面で、適切な内容の話ができるていると思う。	次年度も高評価維持のため、今年度と同様の取り組みを継続することが肝要といえる。さらに、進路説明会だけでなく、事前事後での生徒や保護者へのフォローは必須と思われる。	17
目標 4	18	9.8割程度が肯定的な回答となっている。問題は現段階ではないと見られる。	次年度も高評価維持のため、今年度と同様の取り組みを継続する。また、面談の回数や内容が学年、学校で均一のものとなるように考えていくことも必要かと思われる。	18
	19	9.5割程度が肯定的な回答を示していることは、現状を否定する材料にはならないので、良好といえる。	次年度も高評価維持のため、継続した努力が必要である。	19
	20	生徒指導に関わる校則の検討や、各学年で今気になる問題の共有、さらに発生した生徒指導事案について情報の共有、指導内容、日程の検討を行ってきた。しかし、生徒指導事案を未然に防ぐような取り組みをしてこなかったことが低い評価に繋がっているものと考えられる。	登校指導：本来全教員が生徒を指導すべきであるが、指導する教員は生徒が他クラスであったり、他学年である場合、生徒に注意をしにくいこともあるので、特に正面玄関には生徒指導係主導の指導を考えたい。また、今年度挨拶運動を風紀委員にお願いすることにより、普通に挨拶できる環境作りに繋がった。来年度も、挨拶のみならず規範意識を高める強化月間を儲け、積極的に啓蒙活動を実施したい。さらに、風紀委員会で各月の風紀目標を作成し、教室掲示することで徹底していくことを目指したい。	20
	21	前年度に比べてよい評価を得ている。週に1度生徒指導会議を持ち、また問題が起きた際にはその都度臨時の会議を行うなど、学年で起こっている問題を生徒指導係が共有できたためであろう。	各学年の会議などで生徒指導係の会議で出た内容を共有するまた、他学年の様子なども共有することも今後考えたい。特別指導事案が発生した場合、全教員がその事案の内容と特別指導委員会の内容について知らせることも今後慎重に考えていきたい。	21
	22	「社会のルールマナー」が具体的にどのようなことを指すのか分かりにくく、各教員によって思い浮かべる内容が大きく違っているであろうことから、評価が低くなったと考えられる。	登下校時の歩きスマホやイヤホンの注意、化粧やワックスなどに対しての注意が甘いということもある。生徒指導係の会議から各学年に気づいたことを発信し、それに対してどういう対策を講じるべきかを考え、実践していく。	22
目標 4	23	服装規定を守っていないという評価であるが、生徒はそんなにだらしない格好をしているかと言えばそうでもないように思える。確かにリボン、ネクタイを緩めてだらしない生徒もいるが、一部の生徒が全く指導に載ってこないことを捉えてこの数字になっているのではないかと推測される。	全ての学年の生徒を指導していただくために、生徒にはどの先生に言われてもきちんと指導に乗るよう話す必要がある。なおかつ正面玄関等で生徒指導係主導で指導をしていき、生徒指導係以外の先生でも指導しやすい、言いやすい環境を作っていく。	23
	24	何か気になることがあるごとに、小まめに保護者との連絡を取りあう先生方の姿勢が評価されたものと考える。	今後も何かあれば保護者との連絡を取り合い情報を共有したい。	24
	25	「遅刻・欠席」に対して、生徒指導係として資料を提供するとともに学年での指導をお願いしているが、うまく機能していないので、低い評価になっているのではないかと考える。	今後は、指導方法を明確にしていく必要があると考える。保護者連絡から担任の先生、学年の生徒指導係の先生、学年主任、生徒指導部長さらには、教頭先生にも入っていただき全員で指導できる体制を作っていく。また、「遅刻・欠席」の増減が年単位で可視化できるようなグラフを作成し、生徒に向け掲示できるようなことも考えたい。さらに、必要に応じて保護者の方との面談なども実施していけたらと考える。	25
	26	風紀委員会で挨拶運動を実施したためか、少しだけ評価が高くなっているが満足のいく数値ではない。	登校指導から生徒指導主導で挨拶運動を実施する。特に4月始業式から5月の連休までを強化月間として取り組みたい。	26

目標4	27	清掃の時間が20分しかないが、生徒たちは実際、真面目によく掃除を行っている。この時程で行うならば、これが精一杯ではないか。昨年度より評価（数値）が下がっているのは、校内に放置されていたゴミやペットボトル等が増えたからではないかと思われる。また、6限 終札 清掃 7限 という流れが今年度にできたことも一因かもしれない。清掃活動を丁寧に行っていくことは勿論だが、物を大切に极うこと、後始末をすることの指導が改めて必要なのだろうと考える。中高生にするべきレベルの指導ではないかも知れないが、必要なことはするべきである。	清掃の業者を使い(年間1~3回)、トイレ等を綺麗にする。説明会で「トイレが綺麗」を売りにするなら、それなりの投資は必要かもしれない。生徒はよくやっている。教室にある清掃用具は大きくて扱いにくいので、購入品の種類を検討する必要がある。	27
	28	新型コロナウイルス感染症対策のための取り組みもあり、前年度より評価が16.4%増となった。	担任をはじめ教職員により日常的に行ってきた健康観察を、新型コロナウイルス感染症対策のために強化徹底し行ったことが、インフルエンザ等他の感染症対策にもなったと考えられる。体調不良のみならず心理的なストレスや悩み等心の健康問題の早期発見、対応につながることから、健康観察の重要性は増してきており、保健室としてさまざまな角度から情報を提示し、生徒に興味関心を持たせるような保健指導を考えていきたい。	28
	29	A+Bの肯定評価が74%と昨年よりもやや低くなったが、おおむね機能していると思われる。	分掌によっては、会議の時間が設定されていないところがまだあるので、次年度も設定の検討をしていく。	29
	30	A+Bの肯定評価が67%と昨年並みである。	まだまだ、相互理解がされていない状況であるが、和の精神の実践が必要であり、挨拶から始まり、自分の意見が見え、また、人の意見も尊重する雰囲気作りをしていく。	30
	31	A+Bの肯定評価が93%と大きく昨年度を上回った。特に生徒募集における受験生の増加や、入学生の増加の結果に反映されていると思う。	今後も生徒募集にも大切になってくるものであり、さらに情報を頻繁に発信していく。	31
	32	A+Bの肯定評価が58%とやや上向き加減になってきた。コロナ禍の中、外部での研修に参加しづらかったため、オンラインでの参加が増えてきた。ただ、他教員への還元がうまくいっていないかったようだ。	研修に参加し、自己のスキルアップは大切であるが、それを各教科に還元していくことが望ましい。また、費用のかからないオンラインの研修にも参加している状況であり、参加する教員が増えるようにする方策を考えていく。	32
	33	A+Bの肯定評価が74%と大きく昨年度を上回った。コロナ禍の中、外部での研修に参加しづらかったか、オンラインでの参加が増えてきた。	今後、オンラインでの研修等が増えていくだろうが、どんどん参加の機会を増やしていくって欲しい。	33
学校運営	34	A+Bの肯定評価がほぼ88%と昨年から少し減少しているが、意識の高揚が図られている。今年度は、コロナ禍の中なかなか思い通りに訓練を実施できなかった。	南海トラフ地震等に備え防災意識をもっと高める必要性があり、小学校、高校・中学の合同訓練が必要である。また。常に防災意識を持たせることも必要である。	34
	35	概ね良好であるが、新型コロナ感染防止のために、例年と比べてブース説明会の回数が減っており、その分本校をPRする機会も減ってしまった。その影響が、評価をやや下げる要因になつたと考えられる。	ブース説明会への参加はもちろんだが、本校での説明会においてもスライド内容の精査（資料のレイアウトなども含め）などをを行い、より伝わりやすくするための工夫や見直しを図ってみてもよいかと思われる。また、情報の発信に関しては、入試関連の情報だけではなく、四天王寺東高等学校・中学校をより多くの方面に知りていただくために、学校全体で本校をPRする情報を日常から收拾しておくよう、学校全体、全員が意識しておくことが大切となる。とくに、次年度以降、中学校受験生増加につながるよう努力が必要である。説明会で発信する情報の内容を十分に検討してより充実させることや、コロナ対応も含めた実施計画の早期での周知徹底が必要かと思われる。	35
	36	ホームページを見て、説明会の参加や受験を検討した受験生がかなり多いとのことから、評価数値が微増したと思われる。時期に応じてホームページを更新し、情報発信源としての機能を果たしていたと思う。特に今年はほぼすべての学校イベントで事前予約が必要となっただけに、その存在意義は大きかったと考えられる。	引き続き、入試関連情報も含め、ホームページの運用については概ね現状維持で良いかと思われる。中学の受験人数を増やす企画をHPで発信したい。中学入試のWeb出願に関して、出願情報入力可能開始日から2週間程度遅れてWeb出願のページが公開された。信用を損なうことになりかねないため、「いつ」「誰が」「何を」しなければならないのかを把握する必要があると思われる。	36
	37	A+Bの肯定評価が約95%とやや昨年を上回った。常日頃の注意が功を奏している。	個人情報の保護の大切さの意識を高めることが必要である。常日頃から、意識を徹底し、教務手帳、パソコン、書類などの管理をさらに徹底する。	37
	38	今年度も、学校説明会や入試説明会でたくさんの教員に協力してもらった。A+Bの肯定評価が81%と大きく昨年度を上回った。	生徒募集がいかに大切なことを、常に言わなければならない。説明会のみならず、全てのことが生徒募集につながっているという意識も大切である。生徒に来てもらわなければ、学校が成り立たなくなる。今年度。多くの生徒が入学してくれたが、生徒募集には何が大切なことを各自に考えてもらい、さらなる発展に繋げてもらいたい。	38

*学校関係者評価委員会からの評価	
目標1	1 自粛は仕方がないが、適切に計画実施されている。また、おおむね改善しておりよい。修学旅行などの校外活動ができず残念だったが、高3での校外学習実施は先生方の手厚さを感じている。
	2 コロナ禍でもできる範囲で実施できている。
	3 運動部が活動が制限され充実できなかったが、部活動は全般的に活発になってきている。しかし、コロナ禍での自粛で、生徒会活動は下がっているのに、部活動が上がっているのは信憑性に欠ける。
	4 個人の環境や状況に基づき実施され向上しており、大幅に改善しているのは望ましい。
	5 一人ひとりの生徒に目を向け前年度より力を注がれている。基本方針はしっかりとしており、それに合った取り組みがなされている。
	6 適切に計画・実施されており、子供たちの成長を促す中でよりよい導きとなっている。
目標2	7 改善しており良い。
	8 コース別に適切な時間割が編成できていて、改善しており良い。しかし、円滑な取り組みがなされているが、生徒それぞれの学習意欲の大きな差を感じる。
	9 できていると思うが、クラスによっては計画通りに進まなかつたのでは。
	10 学習指導には満足しているが、引き続き学校全体で取り組み、もっと改善の工夫をしてほしい。
	11 改善されているが、学習内容やその取り組み方に疑問を感じている生徒・保護者がいるので、あらゆる機会に生徒・保護者からの声を聴ける仕組みを作ってほしい。
	12 改善しているが、コロナ禍において、重要なポイントなのに評価が少し低い。各教科の先生からの声掛けを頻繁にしてほしい。また、オンライン授業の取り組みが他校と比べて残念に感じ、不満、不安がある。Wi-Fi環境の整っている生徒といない生徒を分散登校させることもできたのでは。少しづつ理想の体制に近づけていくようにすればよいのでは。今後の対策などを知りたい。
目標3	13 かなりポイントアップしているが、習慣づけできるように今後も指導してほしい。しかし、個々の学習時間に大きな差がある。
	14 改善しており、ZOOMを活用し工夫している。探究活動にうまく順応できる生徒はよいが、生徒に伝わりにくいところもあつた。
	15 改善しているが、より一層の取り組みを願う。また、クラス間の学力の違いを痛感し、担任の先生の心柄によっての生徒の向上を感じた。ネイティブの先生を増やしてほしい。
	16 今後も生徒と保護者が安心して受験に挑めるように尽力してほしい。また、進路に応じた対応を感じていたが、話すことを行えずとする生徒もいるので、教員側からのアドバイスが必要だ。そして、進学実績を掲示するのはよい刺激となっている。
	17 行えている。先輩からのお話はよかったです。今後も生徒と保護者が安心して受験に挑めるように尽力してほしい。
	18 クリアしているが、受験学年以外の面談が少ない。今後も生徒と保護者が安心して受験に挑めるように尽力してほしい。また、懇談などでは教員からの手厚い対応を実感し、よいアドバイスとなっている。そして、いろいろな情報を提供してくれるでの安心できる。
目標4	19 できている。生徒の進路を考える上で大変役立っている。
	20 年々乱れてきているように感じる。もっと指導してほしい。生徒増に伴って、近隣の巡回が必要。年頃の生徒への指導は難しいと思うが、家庭との連携を図りながら毅然とした態度でお願いしたい。実際、問題行動を目撃したという話を聞いたこともある。
	21 現高1生から生徒の雰囲気が変わってきている。よくない評判を耳にする。偏差値や進学先も大切であるが、生徒の素行の部分のほうが大切だ。保護者としては生徒をよい評判の学校に通わせたい。生徒にプライドを持って有意義に過ごしてもらいたい。生活面の指導を厳しくお願ひする。生徒増加の分目が届きにくくなるが、組織的に対応してもらいたい。
	22 隅々まで目は届かないが、厳しく指導してほしい。保護者の協力を得られるような取り組みも必要ではないか。年頃の生徒への指導は難しいと思うが、家庭との連携を図りながら毅然とした態度でお願いしたい。一部の生徒の行動で不評を聞くことがある。
	23 基本的には守れているが、時折守っていない生徒を見る。服装とかばんは差が激しい。

目標 4	24	できている。
	25	遅刻・欠席を重視しない生徒もいるが、社会的意識に目を向けてほしい。
	26	指導がなされており、いつも挨拶してくれる。生徒の笑顔は気持ちがよい。しかし、挨拶や時間を守る習慣がつくように指導してほしい。
	27	教室や設備など丁寧に扱われていると思う。
学校 運営	28	自ら健康観察できたのは、これから健康保持に生かされる。保健だよりはその時期に応じた内容が的確に出ている。意識づけになっている。ただ、保健室に1日中いる場合があるのはどうかと思われる。
	29	*学校関係者評価委員会に回答を要求していない設問。
	30	生徒の指導に大変重要だが、昨年同様、低い結果になっているので学校全体の対策や取り組みが必要だ。もう少し相互理解に努めてほしい。報告、連絡、相談を徹底してほしい。よい教員は、働く環境のよさで育つのだ。そんな学校であってほしい。個人のスキルのみならず、チームで機能できる体制が必要だ。教員間、教科間で連携をよくし、効果的に活動を行ってほしい。
	31	学校の様子が伺えたり、わかりやすくなかった。ホームページの活用により、情報公開がなされ本校を志望する生徒も増える。教職員の日々の取り組みが簡単に耳に入る仕組みがほしい。その取り組みがわかれれば保護者は学校を信頼し理解も増える。外部への情報発信も大切だが、在校生や卒業生への発信も大切だ。
	32	生徒の指導に大変重要だが、昨年同様、低い結果になっているので学校全体の対策や取り組みが必要だ。教員間、教科間で伝達講習などが行える体制を整え、学力向上に繋げてほしい。
	33	*学校関係者評価委員会に回答を要求していない設問。
	34	訓練の実施を少しづつ与えることにより、生徒の防災意識が向上している。また、避難経路の確認など防災意識をしっかりと養ってほしい。
	35	できている。塾の先生が発信の仕方を良く感じている。
	36	情報発信が早くわかりやすくなかった。
	37	できている。
	38	できている。結果として入学希望者が増加している。しかし、人数の増加により、生徒たちの学力差が増加するので、念入りに判断し、募集を見極めもらいたい。

3. 本年度の取組み内容及び自己評価				
中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学習意欲の高揚と学力の向上を取り組み、ICT教育に取り組み、	2 昨年度の「家庭学習時間の確保を行っている」という重点目標が不十分であったので、今年度も継続して重点目標とする。	ア. 各授業で1週間に1回は小テストを実施する。 (小テストは授業の単位数、教科の特性などを考えての実施とする) イ. 授業の宿題を生徒に課す。 ウ. 週末課題などを生徒に与える。 エ. ロイロ・ノートを利用し、課題配信に役立てる。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価アンケートの結果は、前年度の48.7%から76.7%に肯定評価が上昇し、目標の80%にかなり近い数値を得ることができた。コロナ禍もあり、ロイロノートを利用した家庭学習もある程度実施できたことが一つの要因かと思われる。</li> <li>・ちなみに、教員に取り組みの個別内容についてアンケートをした結果、それぞれの項目に対しての肯定評価は以下の通りである。 ア. 70.6%、イ. 85.3%、ウ. 91.1%、エ. 85.3%</li> </ul> <p>■教員が実際に真摯に取り組みを行った結果、この重点目標はほぼ達成できたと考える。(○)</p>
学習意欲の高揚と学力の向上を取り組み、	2 昨年度のアンケート結果を見て、肯定評価の低かった「公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている」を今年度の重点目標とする。	ア. 公開授業として教員相互の授業参観を行う。 イ. 参観期間を設定し、常勤、非常勤にかかわらず、全教員が実施する。 ウ. 参観者の意見・感想を授業担当者に伝え、授業改善に役立てる。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価アンケートの結果は、昨年度が48.8%で、2年度は67.41%の肯定評価という結果になった。</li> <li>・ア. 教員相互の授業参観を2学期に実施した。</li> <li>・イ. 1学期にも参観期間を設定したかったが、コロナ禍で、2学期の1回だけとなつた。</li> <li>・ウ. 参加者の授業に対する感想や意見を用紙に記入してもらい、授業担当者にフィードバックし、授業改善に役立つようにした。</li> </ul> <p>■公開授業の期間が短かったため、時間的に厳しかったことが、今一つ高評価が得られなかつた原因かもしれない。昨年度よりも評価はかなり上昇したが、目標に到達することはできなかつた。(△)</p>
規範意識を高め、取れた人物を育成する。	4 「挨拶をすることや時間を守る指導などを通じて、基本的な生活習慣の確立に努めている」が昨年度の重点目標であったが、不十分であったので、今年度も継続して取り組む。	ア. 毎朝登校時、教員自ら率先垂範を心掛け、校内外で教員から積極的に挨拶、声掛けを行う。 イ. 挨拶強調月間には毎朝校門に風紀委員が輪番で立ち、自ら率先して挨拶することにより、挨拶が普通にできる環境を作る。 ウ. 規範意識高揚の為、時間を守れなかったり、校外でのマナー違反等具体的な事象が発生した場合は、クラスや学年で集会等を持ち、直接訴える。	・自己評価のパーセント。 (肯定評価80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価アンケートの結果は、前年度が56.4%で、2年度は74.4%となっている。</li> <li>・ア. 教員は朝に自ら生徒に挨拶をしていった。</li> <li>・イ. 教員と風紀委員が校舎のエンタランスに朝立ち、挨拶運動を実施した。</li> <li>・ウ. マナー違反の際には、学年の生徒指導係を中心として生徒に注意を行っていった。</li> <li>・教員への取り組みアンケートの肯定評価の結果は以下の通りである。 ア. 97.71%、ウ. 86.0%</li> </ul> <p>■昨年度から自己評価はかなり上昇したが、目標の80%には到達できず、改善の余地があると思われる。(△)</p>

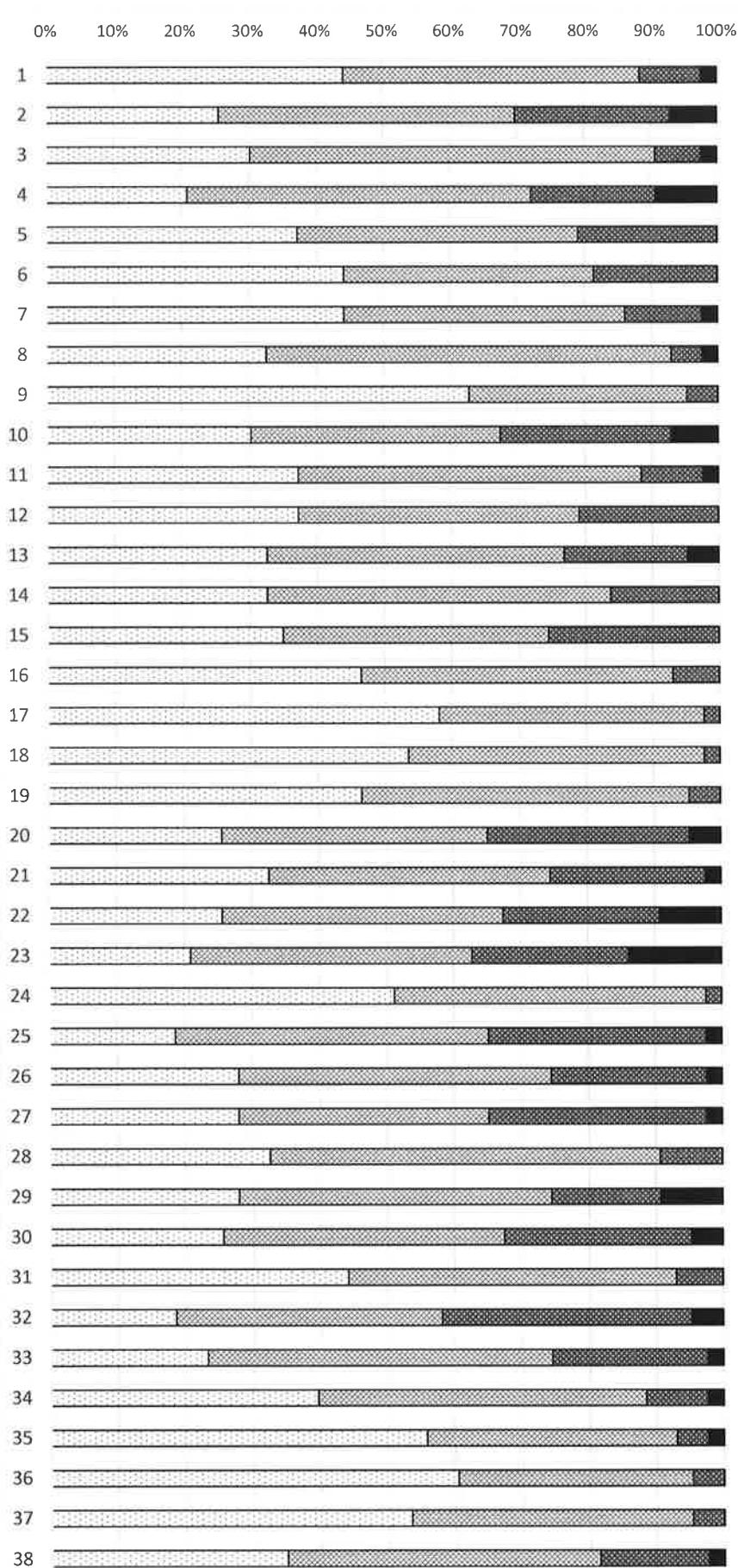
## 令和2年度 自己評価アンケート 集計結果

資料①

設問	1	2	3	4	無
1	19	19	4	1	0
2	11	19	10	3	0
3	13	26	3	1	0
4	9	22	8	4	0
5	16	18	9	0	0
6	19	16	8	0	0
7	19	18	5	1	0
8	14	26	2	1	0
9	27	14	2	0	0
10	13	16	11	3	0
11	16	22	4	1	0
12	16	18	9	0	0
13	14	19	8	2	0
14	14	22	7	0	0
15	15	17	11	0	0
16	20	20	3	0	0
17	25	17	1	0	0
18	23	19	1	0	0
19	20	21	2	0	0
20	11	17	13	2	0
21	14	18	10	1	0
22	11	18	10	4	0
23	9	18	10	6	0
24	22	20	1	0	0
25	8	20	14	1	0
26	12	20	10	1	0
27	12	16	14	1	0
28	14	25	4	0	0
29	12	20	7	4	0
30	11	18	12	2	0
31	19	21	3	0	0
32	8	17	16	2	0
33	10	22	10	1	0
34	17	21	4	1	0
35	24	16	2	1	0
36	26	15	2	0	0
37	23	18	2	0	0
38	15	20	7	1	0

\*各設問に対しての、1～4の評価をした人数の一覧。

\*評価：1（よくあてはまる）、2（ややあてはまる）、3（あまりあてはまらない）、4（まったくあてはまらない）



□ 1 ■ 2 ▨ 3 ▨ 4

## 評価1+評価2の推移と過去年度との比較

資料②

表①は **1 + 2 (%表示)** になります。

①

設問	R1	R2	R3	R4	R5
1	84.6	88.4			
2	71.7	69.8			
3	69.2	90.7			
4	46.1	72.1			
5	74.3	79.1			
6	84.6	81.4			
7	69.2	86.0			
8	76.9	93.0			
9	84.6	95.3			
10	48.8	67.4			
11	71.8	88.4			
12	71.7	79.1			
13	48.7	76.7			
14	92.4	83.7			
15	64.1	74.4			
16	84.6	93.0			
17	84.6	97.7			
18	94.8	97.7			
19	89.5	95.3			
20	64.1	65.1			
21	64.1	74.4			
22	66.7	67.4			
23	64.1	62.8			
24	92.4	97.7			
25	61.6	65.1			
26	56.4	74.4			
27	74.3	65.1			
28	74.3	90.7			
29	76.9	74.4			
30	66.7	67.4			
31	76.9	93.0			
32	51.3	58.1			
33	56.4	74.4			
34	89.7	88.4			
35	97.5	93.0			
36	94.8	95.3			
37	92.3	95.3			
38	74.4	81.4			

平均	73.9	81.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
----	------	------	---------	---------	---------

設問内容は別紙を参照してください。

表②は **前年度からの増減%** になります。

②

設問	R2-R1	R3-R2	R4-R3	R5-R4
1	3.8			
2	-1.9			
3	21.5			
4	26.0			
5	4.8			
6	-3.2			
7	16.8			
8	16.1			
9	10.7			
10	18.6			
11	16.6			
12	7.4			
13	28.0			
14	-8.7			
15	10.3			
16	8.4			
17	13.1			
18	2.9			
19	5.8			
20	1.0			
21	10.3			
22	0.7			
23	-1.3			
24	5.3			
25	3.5			
26	18.0			
27	-9.2			
28	16.4			
29	-2.5			
30	0.7			
31	16.1			
32	6.8			
33	18.0			
34	-1.3			
35	-4.5			
36	0.5			
37	3.0			
38	7.0			

平均	7.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
----	-----	---------	---------	---------

### 資料③

番号	設問	評価1 + 評価2		表の見方	
		%表示		令和元年度	令和2年度
		1+2	で70%未満		
目標1	1 校外活動(修学旅行・校外学習・スキー学舎等)が適切に計画・実施されている	84.6	88.4		
	2 生徒会活動が活発に行われている	71.7	69.8		
	3 部活動が活発に行われている	69.2	90.7		
	4 人権教育が適切に計画・実施されている	46.1	72.1		
	5 いじめに対する基本方針に沿い、その取組が適切に実施されている	74.3	79.1		
	6 仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	84.6	81.4		
目標2	7 教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	69.2	86.0		
	8 効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	76.9	93.0		
	9 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	84.6	95.3		
	10 公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	48.8	67.4		
	11 教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを行っている	71.8	88.4		
	12 学習状況に応じて生徒を支援する体制が整っている	71.7	79.1		
	13 家庭学習時間の確保に向けた取組を行っている	48.7	76.7		
	14 授業で、探究活動を実践したり、ICT（情報通信技術）を活用している	92.4	83.7		
	15 クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	64.1	74.4		
	16 生徒の進路選択に役立つように状況に応じた必要な情報を提供している	84.6	93.0		
目標3	17 進路説明会は、適切に計画・実施されている	84.6	97.7		
	18 定期的な懇談・面談などを通じて適切な進路指導がなされている	94.8	97.7		
	19 実力考查・外部模試等を進路指導に適切に活用している	89.5	95.3		
	20 校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行ってている	64.1	65.1		
目標4	21 生徒の問題に対して情報を共有し、組織的に対応できている	64.1	74.4		
	22 社会のルールマナーを順守させている	66.7	67.4		
	23 服装規定を守らせている	64.1	62.8		
	24 生徒への指導について、保護者への報告が適切になされている	92.4	97.7		
	25 遅刻・欠席を少なくさせている	61.6	65.1		
	26 挨拶することや時間を守る指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている	56.4	74.4		
	27 環境美化や清掃に対する意識の向上を図っている	74.3	65.1		
	28 年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	74.3	90.7		
学校運営	29 職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	76.9	74.4		
	30 教員間・教科間の相互理解がなされ、連携して教育活動が行われている	66.7	67.4		
	31 学校のホームページを活用し、教育活動や生徒の学校生活について情報公開している	76.9	93.0		
	32 研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	51.3	58.1		
	33 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	56.4	74.4		
	34 防災訓練の実施等、防災に対する意識の高揚を図っている	89.7	88.4		
	35 入試説明会などを通して、情報の発信が適切に計画・実施されている	97.5	93.0		
	36 ホームページで入試関連行事などの情報発信が適切に計画・実施されている	94.8	95.3		
	37 個人情報保護の指針が守られ、個人情報が適切に扱われている	92.3	95.3		
	38 職員の生徒募集の意識高揚が図られている	74.4	81.4		

## 令和2年度 学校評価

令和3年 7月 1日発行

発行責任者 学校法人 四天王寺学園  
四天王寺東高等学校  
四天王寺東中学校  
校長 柏井 誠一

監修 教頭 森 隆

編集 学校評価検討委員会  
委員長 近藤 哲也  
委員 中山 栄治 浮邊 浩一郎  
綾野 慎治

※四天王寺学園高等学校・四天王寺学園中学校は、令和2年4月1日より  
四天王寺東高等学校・四天王寺東中学校に校名を変更しました。